

神の心になつた牧者たち

聖書：エレミヤ 2:8, 3:15, 10:21, 23:1-4, イザヤ 40:11,

エゼキエル 34:11-31, ヨハネ 10:11, ヘブル 13:20-21, I ペテロ 2:25, 5:2, 4,

啓 7:16-17

- I. エホバは、預言者エレミヤを通して、牧者たち、支配者たちに関して語り
ました——エレミヤ 2:8, 10:21 :
- A. 牧者たち、支配者たちは、エホバに背きました。彼らはエホバを求めな
かったので、彼らの群れは散らされました——エレミヤ 2:8, 10:21。
 - B. 牧者たちは、エホバの牧場の羊を滅ぼし、散らしました——エレミヤ
23:1-2。
 - C. エホバが約束したのは、ご自身の羊の群れの残された者[レムナント]を集
め、彼らの牧場に連れ戻すということと、彼らの上に牧者たちを起こして
彼らを牧養させて、彼らが繁殖し増殖するということです——エレミヤ
23:3-4。
 - D. エホバは、ご自身の心になつた牧者たちをイスラエルに与えることを約
束しました。このような牧者たちは、神に対する正確な知識と英知を神の
民に与えます——エレミヤ 3:15。
- II. 旧約も新約も、神の心になつた牧者としてのキリストを啓示しています
——イザヤ 40:11, エゼキエル 34:11-31, ヨハネ 10:11, ヘブル 13:20-
21, I ペテロ 2:25, 5:4, 啓 7:16-17 :
- A. キリストは大能の方、支配し裁く方として、牧者となるために来ます。キ
リストは、ご自身の羊を支配し矯正することによって、またご自身の羊の
群れを養い、彼の御腕に小羊を集め、彼の懐に抱いて行き、幼子に乳を飲
ませる者たちを導くことによって、ご自身の羊の群れを顧みます——イザ
ヤ 40:10-11, マタイ 2:6, 9:36。
 - B. エゼキエル書第 34 章 11 節から 31 節は、主ご自身が牧者として来て、ご自
身の羊を捜し、尋ね出すことを予言しています：
 - 1. 主は牧者として、諸国民からご自身の民、ご自身の羊を集め、彼らをカ
ナンの地に連れ戻し、高い山々に住ませます。カナンの地は、神の民
の割り当てられた分け前としてのすべてを含むキリストを予表し、高い
山々は、復活し昇天したキリストを表徴します——エゼキエル 34:11,
14。
 - 2. 主イエスは牧者として来て、わたしたちを顧みる時、王としても来て、
わたしたちを統治します。主がわたしたちの牧者としてわたしたちを顧

みることの結果は、わたしたちが王としての彼に従って、彼の王職の下に、またわたしたちの内側にある彼の御座の下に来るようになるということです——エゼキエル 34:23-24。

C. キリストは良い牧者、大牧者、牧者の長、わたしたちの魂の牧者です——ヨハネ 10:9-17. ヘブル 13:20-21. I ペテロ 5:4. 2:25:

1. 主イエスが良い牧者として来たのは、わたしたちが命を得、しかも豊かに得るためです——ヨハネ 10:10-11:

a. 彼は、ご自身の魂の命、人の命を捨て、ご自身の羊のために贖いを完成しました。それは彼らが彼のゾーエの命、彼の神聖な命にあずかるためです——ヨハネ 10:11, 15, 17。

b. 彼はご自身の羊を囲いから連れ出して、牧場、養う場所としてのご自身の中へと導きます。そこにおいて彼らは自由に彼を食べ、彼によって養われます——ヨハネ 10:9。

c. 主はユダヤ人信者と異邦人信者たちをご自身の牧養の下で、一つの群れ(召会、キリストのからだ)へと形成しました——ヨハネ 10:16。

2. 神は「永遠の契約の血による羊の大牧者であるわたしたちの主イエス」を死人の中から復活させました——ヘブル 13:20:

a. 永遠の契約は新しい遺言の契約であって、群れ、すなわち召会を得るためであり、その結果は、キリストのからだであり、新エルサレムにおいて究極的に完成します。

b. 主は大牧者として、新しい契約の内容をわたしたちにとって実際とならせつつあり、またヘブル人への手紙において啓示されているすべての積極的な事柄の経験と享受の中へとわたしたちを導きつつあります——ヘブル 8:8-13. 1:1-3. 2:9-18. 5:6-10, 14. 7:16, 22, 24-26. 13:1, 8, 12-15。

3. キリストは牧者の長として、諸召会の長老を通してご自身の群れを牧養します——I ペテロ 5:4:

a. 長老が牧養することがなければ、召会は建造されることができません——I ペテロ 5:2。

b. 長老が牧養することは、キリストが彼らを通して牧養することであるべきです。

4. 霊なるキリストはわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの内側の状態を監督し、わたしたちの内なる存在の状況を顧みます——I ペテロ 2:25:

- a. 彼は、わたしたちの魂の幸いを顧みることによって、またわたしたちの内なる存在の状態を監督することによって、わたしたちを牧養します。
 - b. わたしたちの魂はとても複雑なので、わたしたちの霊の中の命を与える霊であるキリストが、わたしたちの魂の中でわたしたちを牧養することと、またわたしたちの思い、感情、意志と、わたしたちの問題、必要、傷を顧みることとを、わたしたちは必要とします。
 - c. 主はわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの魂を回復し、わたしたちの魂に安息を与えます——詩 23:3 前半、マタイ 11:28-30。
5. 未来の永遠において、キリストはわたしたちの永遠の牧者となって、わたしたちを命の水の泉に導きます——啓 7:16-17：
- a. キリストはわたしたちの永遠の牧者として、わたしたちを命の水の泉としてのご自身の中へと導き、わたしたちに三一の神の永遠の分与を享受させます——啓 7:17 前半。
 - b. 命の水は供給されて、涙の水はぬぐい取られます——啓 7:17 後半。
 - c. 永遠におけるキリストの牧養の下で、涙もなく、飢えることもなく、渇くこともなく、享受だけがあるようになります——啓 7:16-17。
- III. 主イエスは彼の天の務めにおいて、ご自身が地上の務めにおいて開始した牧養を継続しています——ヘブル 13:20-21：
- A. 主は、ヨハネ第 21 章 15 節から 17 節において、ご自身が天にいて地上にいない間、ご自身の小羊を養い、ご自身の羊を牧養することをペテロに託しました。この事は、使徒の務めとキリストの天の務めを合併して、神の羊の群れを牧養することでした：
1. 彼が天で行なっていたことを、使徒たちは地上で行なって、彼の天の務めを遂行しました——ヘブル 13:20-21、ヨハネ 21:15-17。
 2. 牧養に関して、使徒の務めは、キリストの天の務めと協力します——ヨハネ 21:15-17。
- B. 使徒パウロは、キリストの天の務めにおける牧養と協力して、聖徒たちを牧養する模範です——ヘブル 13:20-21、7:25-26、I テモテ 1:16、II コリント 1:3-4、使徒 20:20：
1. パウロが聖徒たちを牧養したのは、養う母として、また勧めをする父としてでした——I テサロニケ 2:7-8、11-12。
 2. パウロがエペソの聖徒たちを牧養したのは、彼らを「公にも、また家から家でも」教えることによってであり(使徒 20:20)、また三年の間、聖徒た

ち一人一人を涙をもって訓戒して(31, 19 節)、彼らに神のみこころをすべて言い表すことによってでした(27 節)。

3. パウロは、彼の心が広げられて、命を供給するうえでの親密な心遣いを持ちました——Ⅱコリント 7:2-3. Iテサロニケ 2:8. ピリピ 2:19-20.
4. パウロは弱い者たちの水準に下って来たので、彼らを得ることができました——Ⅱコリント 11:28-29. Iコリント 9:22. 参照、マタイ 12:20.
5. パウロは召会を愛する者として、召会を愛するキリストとの一の中にあり、進んで聖徒たちのために彼が持っていたもの(彼の財物を指す)と、彼であるもの(彼の存在を指す)とを費やして、キリストのからだを建造しました——エペソ 5:25. Ⅱコリント 12:15. 11:28-29.

IV. 神の群れを牧養する者たちは、神にしたがって牧養すべきです——Iペテロ 5:2:

- A. 神にしたがって牧養することは、神が彼の属性において何であるかにしたがって牧養することです——ローマ 9:15-16. 11:22, 33. エペソ 2:7. Iコリント 1:9. Ⅱコリント 1:12.
- B. 神にしたがって牧養することは、神の性質、願望、方法、栄光にしたがって牧養することであって、人の好み、興味、目的、個性にしたがって牧養することではありません。
- C. わたしたちは、神にしたがって牧養するために、命、性質、表現、機能において神となる必要があります——ヨハネ 1:12-13. 3:15. Ⅱペテロ 1:4:
 1. わたしたちは、キリストの複製、すなわち、神の表現となる必要があります。それは、わたしたちが牧養するとき、神を表現するためであって、個性と特異性を伴う自己を表現することがないためです——ヨハネ 1:18. ヘブル 1:3. 2:10. ローマ 8:29. ガラテヤ 4:19.
 2. わたしたちは神の機能において神となり、神が何であるかにしたがって、また神のエコノミーの目標にしたがって、神の群れを牧養する必要があります——エペソ 4:16. 啓 21:2.
 3. わたしたちは神と一になるとき、命と性質において神となり、人を牧養することにおいて神です——Iヨハネ 5:11-12. Ⅱペテロ 1:4. Iペテロ 5:2.

V. キリストのからだを建造する牧養は、相互の牧養です——Iコリント 12:23-26:

- A. 牧養することは、すべてを含む、優しい顧みを群れに与えることです——ヨハネ 21:15-17. 使徒 20:28.

エレミヤ書と哀歌
メッセージ 11 (続き)

- B. すべての信者は、彼らの霊的な成長がどの段階にあったとしても、牧養を必要とします。
- C. わたしたちはみなキリストの有機的な牧養の下にいて、彼と一になって人を牧養する必要があります——I ペテロ 2:25. ヨハネ 21:16。
- D. わたしたちは御父の愛し赦す心にしがって、また御子の捜し、見だし、牧養する霊にしがって神の群れを牧養する必要があります——ルカ 15:4-24, 32。
- E. わたしたちは羊であり、また牧者でもあって、相互に牧養し、牧養されます。この相互の牧養を通して、からだは愛の中でそれ自身を建て上げます——エペソ 4:16。